

- ▶ 読谷村内にある森林の公益的機能を維持・増進させる目的で、既存の森林生態系を脅かす特定外来植物である「ツルヒヨドリ」の防除作業を実施する。
- ▶ R1年度は、村単独費で分布確認を行い、譲与税を活用して駆除作業の委託業務を行った。その際、維持管理を行っている村職員と一緒に駆除作業を行ってもらい、令和3年度においては、令和2年度に引き続き、森林環境譲与税を活用して、村直営でツルヒヨドリの駆除を行い、森林の整備・保全に取り組む。
  - ・引き続きモニタリングを行う。
  - ・分布調査・駆除作業を行う。

□ 事業内容

1 文化財維持管理業務

- ・令和元年度に行った分布調査を基に、森林に脅威をもたらしているツルヒヨドリについて譲与税を用い、モニタリング及び駆除作業を行う。

【事業費】7,289千円（うち譲与税3,571千円）

【実績】座喜味城跡史跡内44,193㎡内において、約800㎡の範囲で駆除を行った。



（モニタリングの様子）



（駆除作業の様子）

□ 事業スキーム

- 1 森林環境譲与税を活用して、村直営で実施。

□ 工夫・留意した点

- ・R1年度に行った分布調査やモニタリングを基に、確認を行った。
- ・継続してモニタリングを行い、ツルヒヨドリが新たに発芽していないか等、注視しながら駆除作業を行った。

◇ 基礎データ

①令和3年度譲与額	3,571千円
②私有林人工林面積（※1）	1ha
③林野率（※2）	27.3%
④人口（※3）	41,206人
⑤林業就業者数（※4）	4人

※1、2:「2020農林業センサス」より、※3:「R2国勢調査」より、  
※4:「H2/年国勢調査」より

森林環境譲与税に関する市町村の令和3年度の決算状況調査（調査表）

都道府県名	市町村名	事業区分	事業名	事業総額（千円）			事業内容	実績	税導入の効果
				(A)+(B)	(A)うち森林環境譲与税（千円）	(B)うち他の財源（千円）			
沖縄県	読谷村	⑤ 森林保護対策	文化財維持管理事業	7,289	3,571	3,718	R1年度、特定外来植物のツルヒヨドリが、世界遺産である座喜味城跡史跡内に確認された。景観保全の観点から、前年度に引き続き防除作業を実施した。	防除面積約800㎡	<p>【ワンフレーズ】</p> <p>税活用により、前年度から継続して、ツルヒヨドリの除去を約800㎡の範囲で実施することができ、森林の有する公益的機能の発揮につなげることができた。</p> <p>【詳細】</p> <p>本村では、森林区域において特定外来植物「ツルヒヨドリ」が確認されたことから、R1年度から本税をツルヒヨドリ防除に活用し、高度公益機能森林の保全を推進することとして取り組んでいる。</p> <p>結果、約800㎡の範囲でツルヒヨドリを除去することができ、森林保全が図られた。前年度確認された箇所等新芽等が見えたり、新たに確認された箇所があったりとツルヒヨドリの生息域の多様性が見られたこともあり、今後も継続してモニタリングや防除作業を実施するとともに森林保全のため維持管理に努める。</p>